



TOMUTONTTU

ER: LIVE:

#49 Tomutonttu ^{FI} TAGUCHI, Masayuki ^{JP} kasumi ^{JP}

DJ:

le ^{JP}

PLACE:

Sakyukan

DATE:

May 10, 2025



Date

2025年5月10日(土)
開場17:00 開演17:30 (終演19:45予定)

Place

砂丘館

新潟市中央区西大畑町5218-1
TEL 025-222-2676

○お車で越しの方は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

Ticket

予約3000円/当日3500円/県外2500円/U18無料!



○ご予約は左記のQRコード「チケットご予約フォーム」にて受付中。必要事項をご入力頂きご送信下さい。

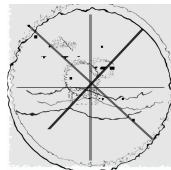
Live performance by



トムトントウ | Tomutonttu (英:dust gnome / ダスト・ノーム) はフィンランドの複合領域アーティスト、ヤン・アンデルセンによる長年に渡る音楽プロジェクト。「ノーム」はオリジナルの拡張現実を象徴する。選ばれた場である「ダスト」は、目に見えるものが見えないものと融合する結節点として機能する。Tomutonttuの愉快な乗り物の中心には、アコースティック要素、ファウンド・レコーディング、ハードウェア、ソフトウェアが織り成すタペストリーがあり、概念にとらわれないハーモニーを生み出している。アンデルゼンはこの合成を通して、人間と機械の相互作用の新たな道を探っている。なぜ音楽は私たちに強い影響を与えるのか? この疑問の火花からTomutonttuは生まれた。



田口雅之 | 新潟市在住の電子音楽家。日本電子音楽協会会員。音響合成による音作りと、アルゴリズムにより生み出される音律・旋律・リズムを組み合わせることで、アンビエントや実験音楽を中心に独自の音楽表現を図る。2016年には手塚眞監督、松崎友紀主演の短編アート映画「OKUAGA」の音楽を担当。一方で、音楽と同期するジェネラティブな映像作品の制作にも取り組み、2015年には新潟市市民映画館シネ・ウィンドにて音響映像作品の上映会「Audio-Visual」を主催。翌年には新潟市美術館のコレクション展「美術のモトーてん・せん・めん」にて「Monolith」が展示。音楽制作には主にMaxを使用。サウンド&レコーディング・マガジン 2020年7月号にはMaxの解説記事を寄稿。



カスミ | ロックから民謡まで幅広いジャンルをルーツに持つ若手アーティスト。暗く不穏な楽曲が特徴的。新潟、東京の2拠点で活動中。

DJ by
レ | le_45))) sound of mikkyoz / red race riot / opuesto

ゼロ年代よりフィンランド発の実験音楽団Kemiälliset Ystavat(ケミアリセット・イスタヴァト)のリーダーとして大きな注目を集め、フリー・フォーク〜サイケデリック〜エクスペリメンタルを渡り歩いてきた北欧きっての奇才電子作家ヤン・アンデルセンによるソロ・ユニットTomutonttu(トムトントウ)が遂に初来日の新潟公演! これまで作品を共にしてきたワンオートリックス・ポイント・ネヴァー、ジェームス・フェラーロ、スペンサー・クラーク、MSHRらと共振しつつ、めくるめくコラージュがカラフルに紡がれていく万華鏡ようなサウンド&ビジュアルは要必聴・要必見! 新潟からは手塚眞監督によるアート短編映画『OKUAGA』のサウンドトラック発表で更なる深淵を見せるアンビエント作家の田口雅之、電子音響に多様な感触を持たせる注目の若き実験作家のkasumi、そして会場の砂丘館で毎年オーディオビジュアル作品の発表を続けているmikkyozのサウンドを担う電子音楽家leがDJとして登場。是非ともこの機会をお見逃しなく!!

Curated by

Experimental Rooms

www.experimentalrooms.com
info@experimentalrooms.com

